

令和4年度 第2回

グループホームたてがみの郷 運営推進会議 報告書

日 時：令和5年7月20日（木） 9：30～10：00

場 所：第1会議室

出席者：9人（利用者家族1名、地域住民代表2名、波根駐在所1名、大田市職員1名、民生児童委員1名、事業所職員3名）

議 題

1.登録実績と利用状況について

2. 近況報告

3. 外部評価関連

＊事業所と地域との付き合い方について

- ・ 大津自治会長より囲碁の場所として施設の一角を提供してほしいとの依頼あり
- ・ グループホームご利用者の活動報告及び地域の方への協力依頼（物品提供、畑指導）として広報誌「絆通信」配布についてのお願い

＊事業所の防災・災害対策について

夜間想定避難訓練を6/21に行った 実施状況報告と地域の方からの評価報告

＊その他

報告内容

1.登録実績と利用状況について 別紙レジユメ参照

2.近況報告

- ・ 5月6月と入退居なし。体調不良者があったが主治医との連携により早期対応し、悪化を予防することができた。
- ・ 新型コロナ感染の影響で中止していた昼食作りを今月から再開した。

3.外部評価についての報告、意見交換

＊8月から法人の別棟にある竹下成果を地域の方の碁会所として提供する事となった。

【広報誌「絆通信」について地域代表からの質問・意見】

- ・ 大津中浜地区だけではなく波根地区の全戸数に回覧したほうがよいのではないか。
→どの程度依頼が来るかわからない状況であったので、大津地区、中浜地区のみと考えていた。経過を見て検討させていただく。
- ・ 協力依頼内容に畑づくりのサポートとあるが、利用者の方が地域の人や職員にその人が指導してもらおうほうが喜ばれるのではないか。
→長年されてきた方もおられるが、ブランクがあったり個々で育て方が異なったりすることを理由に遠慮される現状がある。地域交流の一環として作業の協力をお願いしたい。
- ・ 頻度やどのタイミングで協力に来たら良いのか教えてほしい。
→指定はなく気軽に相談出来たり立ち寄りしてもらえるように交流を図りたい。

*夜間想定の方災訓練見学後の意見、評価

- ・夜間想定であったが、本当に夜間に行わないと実際の動きは掴めないのではないか。また、利用者の参加人数を絞るなどして実施できないか。

→総合訓練の頻度を増やすことが難しいため、夜間帯を想定した実際の時間に避難訓練、通報訓練、消火訓練などを部分的に行うように計画していく。地域の方の協力内容についてもマニュアルに記載するように勧めていく。

- ・消火訓練は新人職員だけでなく何年に一回は職員がやったほうが良いのではないか。

→新人に限らず全職員が定期的に消火訓練をできるように計画する。

*前年度に始めた地域貢献としての児童見守り隊について

- ・評価と今年度の取り組みについて教えてほしい。継続的な取り組みであれば経過報告が必要ではないか。

→昨年度の評価として、あんきなが小学校前、GHが金子旅館前で見守りした。金子旅館前は児童の帰宅が把握しづらく、また、冬季は風も強くご利用者の同行も難しい。その評価を踏まえて、今年度はあんきな・GH共に曜日分けて、学校前での見守りを行うことになった。児童との交流や自分の役割として認識されているご利用者もおられ、良い効果も得られている。今後、経過報告を定期的に外部評価の参考とさせていただく。